

2学期スタートにあたって

校長 柿元 真一

今年の夏休みは、地域の夏祭りやお盆で親戚に会い、充実した夏休みだったと思います。

8月は、異常気象で気温35度以上の猛暑日が続き熱中症の警戒や台風接近もありました。9月も猛暑日が続きますし、台風も接近する可能性があるので心構えはしておきましょう。全国各地で、熱中症や水難事故の死亡事故の報道がありましたが、本校は水難事故や交通事故等のない事故0の夏休みで安心しました。

一学期に立てた夏休みの目標は、達成しましたか。始業式の生徒代表による夏休みの反省と2学期の目標の中で、勉強と部活動の両立、勉強と体力作りの両立やテストに取り組みたい、家の手伝いは続けていきたい、受験生として勉強を頑張りたいという目標を発表してくれました。そして充実した夏休みであり、体育大会や文化祭を最高の思い出にしたいと語っていました。

夏休みに頑張れたことは、2学期スタートの力にして、頑張れなかったことは、しっかり反省してこれも2学期スタートの力にしてください。また、生活面や学習面、体力面、一人一人の成長が、2学期スタートの大きな力になります。今日から新たな気持ちで学校生活を充実させるため、自分を成長させるために、いろいろな面で、チャレンジしてください。

新学期に入って、生徒たちの笑顔と元気な声が、学校に戻ってきてうれしいです。

授業や学校行事等の教育活動を進めていきます。特に、体育大会、文化祭等があります。1年生は中学校に入学して初めての行事であり、3年生は、最後の行事になるので、全校生徒一丸となって精一杯取り組んで充実したものになるよう頑張ってください。

さて、9月1日は何の日でしょうか。防災の日です。9月1日が防災の日とされたのは、1923年9月1日に起きた「関東大震災」が由来とされています。

「防災の日」には、各御家庭でも防災・安全について話をしましたでしょうか。されていない御家庭がありましたら、もし地震が発生した場合の避難場所や行動等について話し合いをされておいてください。

最後に、二学期も生徒の皆さんが、喜んで登校して学校生活を過ごし、満足して下校してほしいと願っています。

若い目掲載おめでとう

南日本新聞 9月2日掲載

訓練大切に

生冠中2年

池田 麻姫

いっどんな災害が起きるかわからない。今年の1月1日、能登半島地震で気付かされた。どのテレビ番組でも緊急地震速報が流れていた。

もし、地震が石川ではなく、鹿児島だったら、私たちの住んでいる所だったら、どのような行動を取っていたらどうか。

集落の親子会で薩摩川内市消防局防災研修センターに行った。地震と台風の体験をした。

前に行ったことがあるが、あまり覚えていなかった。地震は、立って揺れないくらい揺れた。頭に恐怖しか浮かばなかった。台風は、手すりから手を離したら吹き飛ばされるかもしれないと思うほど風が強かった。

地震や台風、津波がいっ起きてても対応できるように、訓練を大切にしたい。(いちき串木野市)

職場体験学習(2年)

7月9日(火)、10日(水)に、2年生が6事業所で、職場体験学習を実施しました。事業所の方々には受け入れをしていただきありがとうございました。生徒は貴重な体験をすることができました。



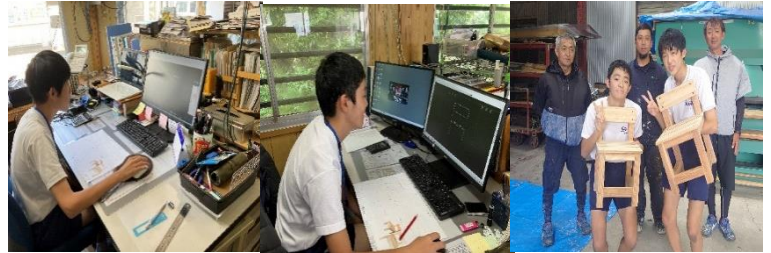
【市立図書館】



【生福保育園】



【生福郵便局】



【有限会社 サカシタ】



【こだわりとんかつ味工房みその】



【串木野海上保安庁】

非行防止教室(1年生)

7月11日(木)に警察署の署員の方を講師として非行防止教室を実施しました。犯罪になるのかならないのかという事例を考えたり、日常生活を安全に過ごすための講話を聞いたりしました。



租税教室



7月11日(木)に租税教室を実施しました。いちき串木野市税務課の先生を講師として、税についての講話やDVDを視聴しました。「税金がどんなところに使われているのか。」「税金がなかったらどんな世界になるのか。」といったこと等について学習しました。

校内球技大会

7月13日(土)に校内球技大会を実施しました。大変暑い体育館でしたが、白熱した熱戦が繰り広げられました。楽しい球技大会になったようです。



個別課題解決学習発表会（3年生）

7月13日（土）に3年生の個別課題解決学習発表会を実施しました。学校運営協議会委員の方に講評をしていただきました。



親子奉仕作業

9月1日（日）に小中合同親子奉仕作業を実施しました。台風10号の影響で倒木がありましたが、撤去することができました。当日は全体で100名ほどの参加がありました。また、西岳会の方にもご協力いただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで学校がきれいになりました。



いじめ問題を考える週間

9月2日（月）から6日（金）はいじめ問題を考える週間でした。道徳等で、いじめに関する授業を実施しました。いじめについて考える機会になったと思います。学校全体でいじめを許さない雰囲気を作っていきましょう。7月と8月のいじめの認知件数は0件でした。



全国学力・学習状況調査(4月)結果

4月18日に中学3年生を対象に実施した全国学力量習状況調査の結果が発表されました。国語と数学のどちらも全国平均を大きく上回っており、生徒は非常によく頑張っています。国語で全国平均を大きく上回っていたのは「書くこと」でした。日頃の授業や南風録の視写やオセモコの要約等の積み重ねが結果として表れていると思います。課題としては「読むこと」があげられます。読書量を増やしていく必要があります。数学は全領域で全国平均を上回っていますが特に「関数」や「データの活用」は大きく上回っていました。

	国語	数学
本校平均	66.0	59.0
全国平均	58.1	52.5
全国比	113.6%	112.4%

(全国比：全国を100としたときの割合)

- 2 二 線部①と線部②の関係を説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 線部②で、線部①の内容を抽象的に言い換えている。
- 2 線部②で、線部①の内容を具体的に言い換えている。
- 3 線部②で、線部①の内容についての推測を述べている。
- 4 線部②で、線部①の内容についての意見を述べている。

一口に植物といっても、世の中には多種多様なものがあります。木でも草でもよいのですが、そのなかから好きなものを片端から思い浮かべて、それ以外の葉の形を一言で表してみてください。どのような言葉があがってくるでしょうか。「楕円形の」「薄い」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのある」「厚ぼったい」「針のよう」「手のひらのような」……。それこそさまざまな形があるでしょう(図)。

では次に、これらの言葉を2つのグループに分けるとしたら、どのように分けられるでしょうか。もちろん、言葉を2つのグループに分けるやり方はいろいろあるので、何が正解、というわけではありません。自由に考えてみてください。

①今、問題となっているのは「形」ですから、二次元的(平面的)な形容と、三次元的な(厚み方向の)形容に分けることはできそうです。つまり、先ほど挙げた例であれば、「楕円形の」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのある」「針のよう」「手のひらのような」は平面的な形容で、「薄い」「平べったい」「厚ぼったい」「厚み方向の形容です。こうして見ると、平面的な形容のほうは数多くバラエティーに富んでいるのに対して、厚み方向の形容は、きわめて限定されている感じがします。しかも、「薄い」と「厚ぼったい」という正反対の言葉が入っているのが気になります。

しかし、考えてみると、誰も「サイコロが厚ぼったい」とは言いません。「厚ぼったい」も「薄い」も、平たい物質の形容であって、その形の本質は「平たい」ことにあるわけです。平たいものなかには、平均的な厚みよりも厚いもの、薄めなものがある、その程度の差を生み出しているのでしょうか。

つまり、植物の葉の、三次元的な厚み方向の形の本質は「平たい」というひとつの共通の概念にまとめられることができます。①といった途端、ネギの葉はどうなんだ、という突っ込みが入りました。たしかに長ネギの葉は丸くありません。これはどう考えたらよいのでしょうか。

八百屋さんから長ネギを買ってきてよく観察すると、白い部分は何層にもなっていて中まで詰まっているので、実際の立体的な形は円柱です。しかし、緑色の部分は薄く、中は空っぽです。葉としての役割を果たす緑色の部分は、外側一層しかなくて、丸く湾曲しているもの、ネギも平たいといえるでしょう。やはり、三次元的な形は「平たい」という一言に集約できそうです。

一方で、葉の形は、二次元的、平面的な形容は本当に多種多様です。三次元的な形は「平たい」という共通性、普遍性を示すのに好んで、二次元的な形は、植物によって異なり、多様性を示すことがわかります。

この「普遍性」と「多様性」には、生き物の研究をしていると、なにかにつけてぶつかります。生物学とは違って、数学や物理学、それに化学の一部は、普遍性の学問です。1+1は誰にとっても2ですし、鉄がたまに金の性質を示す、というようなことはありません。鉄は鉄、金は金です。酸素と水素が反応してできるのは水であって、たまには水ではなくて油ができてよいだろう、などといったら化学者に怒られます。

しかし、生き物を扱っていると、そのように単純には物事が進みません。植物の葉は常に緑色であるといいたいところですが、モミジは秋になると紅葉しますし、園芸店に行けばいくらでも白や黄色の斑入りの葉、あるいは紫色が鮮やかな葉を見つけることができます。植物は光合成で生きています、といった途端に、ナンパンギセルなどの寄生植物は違うだろうという突っ込みが入ります。植物の多くが緑色の葉をもって光合成をしているのは事実であって、それは植物の本質的な生き方を反映しているのですが、その本質にさへ、例外はあります。ましてや、葉の平面的な形は、植物の種類ごとに違っており、多様性の宝庫なのです。

(園地公教「植物の形には意味がある」による)

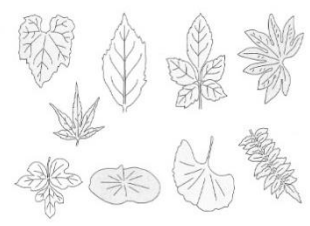


図 きざまな形の葉

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

全国学力量習状況調査 国語2 二の問題に挑戦してみてください。(正解 2)

お知らせ

9月より体育の非常勤講師として西上原えりか先生が赴任しております。どうぞよろしくお願ひします。

10月行事予定

9月30日(月)	小中合同あいさつ運動(～4日)	9日(水)	地区中学校新人体育大会(～10日)
10月 2日(水)	家庭学習意欲週間(～8日)		小中家庭学習強調週間(～15日)
	生徒会立ち会い演説会・投票	12日(土)	にんにく植え付け作業
3日(木)	地区駅伝大会(吹上浜運動公園)	16日(水)	中間テスト(～17日)
8日(火)	日置市・いちき串木野市合同 中学校英語弁論大会	22日(火)	ダンス発表会
		27日(日)	文化祭(日曜参観)
		30日(水)	3年実力テスト(～31日)